

★会議等出席に際しての注意（準備）事項と心構え★

- 飛沫対策が重要なので距離をとる。加えて終了後に、うがいや手洗いの徹底。
- テレビ会議（ビデオ会議）や Web 会議でも、自室の 3 密に注意する。
- 不安とを感じる場合など、自分の体と相談して無理をしないでください。
- コロナが治まるまで、人を集めたり移動させたりしないで、テレビ会議にする。

1. 出席（参加）前

- ① 熱はかる。
- ② 熱、せき、のどの痛み、体がだるい時は、出席を控えてください。



会議中、熱、せき、のどの痛み、体がだるい場合は、退室ください。

- ③ 出席の際は、マスク着用をお願いします。
- ④ その人に応じた指定席にする。（よくしゃべる人・発言する人・声の大きい人）

2. 会議等の中で

- ① 180cm の長机の真中に一人ずつで、部屋に応じた人数で開催してください。
- ② マイクのやりとりはしない。基本、マイクは使用しない。使う場合は専用（固定）マイクとする。
- ③ お茶は出さない。必要な人は、持参する。
- ④ 会議を短くする。最高 90 分（40 分・休憩 10 分（部屋の換気）・40 分）40 分ごとに窓を開けて空気を入れかえてください。読んでわかるものは配布して、余分な質問・説明はしないで早く終わる。
- ⑤ エアコンの密室こそが、特に危ない。窓を開放して、風の流れがない場合は、扇風機を回してください。クーラー入れても窓を開けてください。

3. その他の留意事項



- ① アルコール消毒液、石けん、赤外線体温計の設置
- ② 高齢者が多く、新型コロナウイルスに感染した場合、重症化しやすく致死率が高い。よって、万が一のことが想定されるときには、緊急性のない会議等は、中止でもかまわないと思います。
昨年しているからではなく、実施する必要の会議であるか考えてみてください。いわゆる命をかけてする必要のものであるかどうかを。

(書面にての処理(会議・委員会・理事会・総会)でも良い。)

このような状況下では、活動に制約があります、今までは「つながる」「手に手を取り合って」「絆」「連携」「協働」のテーマで活動してきた。

これからは、コロナが治まるまで「コロナと共に」「繋がりを断ちながら」方法で活動してゆかねばならない。

興味をそそる斬新な次代に即した手法の広報・啓発・相談活動

- ③ 必ずこんな人がいるのです。大声で発言してマスクをアゴにずらす人がいます。また、近寄って来て質問したり、書類を見せて説明する人がいます。
近づく場合には、同意を得て、書類をサッと渡して自席から応答する。
- ④ 部屋に合わせて参加人数を限定していいと思います。(役員・正副委員長)
- ⑤ 相談所への出席の場合、不安だったら(担当部署長・事務局長)事前に相談する。

★ **マスクをはずす時は、いつか。**

会議終了後、マスクをはずして、手洗い・うがいで車に乗り込む。
しない人は、家までつけたままで帰って、家で手洗い・うがいです。
車に乗ってはずす人がいますが、その手で口や鼻や目を触るからダメです。

★ スーパーの駐車場で、購入したばかりのアイスやお菓子などを子どもと一緒に車で食べている人をときどき見受けます。

★ マスクは下着(P)だと思え。下着は人前では脱がない、はずさないからだ。マスクは人前でははずしていけないからだ。